

各 位

会社名 石油資源開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡辺 修
問合せ責任者 広報 IR 部長 三原 章司
電話番号 03-6268-7110

カナダ政府およびカナダ ブリティッシュ・コロンビア州政府に対する
環境影響評価レポートの提出について

石油資源開発株式会社（以下、当社）は、子会社を通じて、マレーシア国営石油会社である PETRONAS 社、ブルネイ国営石油会社である PetroleumBRUNEI 社とともにカナダ ブリティッシュ・コロンビア州のシェールガス・LNG（液化天然ガス）プロジェクトに参加しておりますが、このほど、カナダ政府（カナダ環境評価局）およびカナダ ブリティッシュ・コロンビア州政府（BC 環境評価室）に対し、環境影響評価レポート（“Environmental Impact Statement”）* を提出しましたので、お知らせいたします。

去る 2 月 28 日に提出された本レポートは、今後、各監督官庁の審査、先住民族との協議を経て、パブリックコメントを募集したうえで、最終的に監督官庁からの承認を得ることとなります。

当社は、2013 年 4 月 26 日に、本プロジェクトのオペレーターである PETRONAS 社と正式契約を締結し、開発・生産中のシェールガス鉱区権益、ならびに生産したシェールガスを LNG 化し輸出する事業権益（Pacific NorthWest LNG プロジェクト、生産量 1,200 万トン／年）の 10%と、同権益比率相当の LNG（120 万トン／年）を引き取る権利を取得しております。本プロジェクトは、シェールガスの開發生産・LNG 化・LNG の引き取りまでの全事業を、全パートナーが同一権益比率で保有する一貫操業体制を敷いており、安定的かつ効率的な操業の実現を可能とするものです。

本プロジェクトでは、現在、LNG 生産施設に関する詳細設計（FEED）を実施しており、2014 年末の最終投資決定（FID）を目標に作業を進めております。また、2013 年 12 月には、カナダ政府（国家エネルギー委員会）から LNG の輸出許可を取得しております。

当社は、本プロジェクトの推進を通じ、競争力を持った LNG を、長期に亘り安定的に調達してまいります。輸入された LNG は、建設を予定している相馬 LNG 受入基地（2013 年 11 月 27 日最終投資決定）で受け入れ、これを既存パイプライン等のガス・インフラに接続させ販売することで、当社の収益基盤である天然ガスの一貫供給体制を、更に強固なものとしてまいります。

以 上

*Environmental Impact Statement: 当該プロジェクトの概要およびプロジェクト実施に係る潜在的な環境、遺跡、健康、社会、経済への影響についてとりまとめたレポート。